

7M-GT

オーソドックスな定番ターボチューニング カーショップF-1 ☎0725-22-2214

長い間、トヨタの主力パワーユニットとして活躍したM系のファイナルステップが7M-GTだ。3リッターストレート6にターボをドッキングし、一時は国産エンジンのトップに君臨した。今日ターボバージョンは姿を消してしまっただが、チューニングベースとしては、まだまだおいしい素材だよ。

スポーツマフラー、過給圧アップのファインチューニングで軽く300psをオーバーする実力を秘めており、チューニングメニューもさまざま。このスーブラはエンジンをノーマルのまま、TO4E(A/R0.70)を使ったオーソドックスなターボチューニングが施されている。TO4Eといえばサ

イズバリエーションは豊富だ。7M-GTにA/R0.70なら、やや上を狙ったタービンといえる。7M-GTはもともとトルクのあるエンジン。そこでTO4Eを使って中速～高速にかけてスリリングなブーストパワーを絞り出しているというわけだ。また一時的に過給圧を上げるSBC(1.2kg/cm²)により、一段と優れた加速Gが体感できる。

このスーブラはAT。もちろん強化ATが組み込まれている。レスポンス良くハイパワーを余すことなく引き出してくれるぞ。ただアクセルを踏むだけで、力強いブーストフィーリングが背中を熱くしてくれるゴキゲンなマシンだ。



TO4E(A/R0.70) EVC(1.0kg/cm²) SBC(1.2kg/cm²) HKSスペシャルウエストゲート HKS75φマフラー パワーフロー M40プラグ F-CON 強化AT



EVC、SBCのコントロール部はステアリング下にセットしている

1G-GT

シングルターボのグッドフィーリング ガレージ伊藤 ☎0726-37-8511

1G-GTといえば国産初のツインターボエンジン。ターボチューニングする場合、当然ツインのままパワーアップすることは可能だ。しかし、1G-GTの定番となりつつあるのがシングルターボだ。というのも、ツインに比べセッティングが容易でコストパフォーマンスも高く、高性能タービンを生かしければ、全域に渡ってグッドフィーリングが引き出せるのだ。

使用されるタービンはTO4Eがもっともポピュラー。各サイズをセレクトすることにより、ステージに応じたセッティングが可能だ。

このスーブラに使用されるタービンはH1のRHC6(525G)。トラストのステ

ンレスEXマニとスタンダードウエストゲートによってビルドアップされている。サイズ的にはやや大きく、マニュアルの1G-GTなら上での力強いブーストフィーリングが楽しめる。現在、過給圧は1.0kg/cm²だが、このタービンならセッティングを見直し、もう少し高めてやればもっとおもしろくなってくるはずだ。

1G-GTの欠点はトルクレスな低回転域にある。これを解消するためにはコスト的には高くつくがピストン&クランクシャフトで2.4リッターにするのがベスト。トルクバンドがグッと広がり、ピークパワーのみならず、扱いやすい1G-GTにフィニッシュすることができるぞ。



トラストステンレスEXマニ RHC6(525G) トラストスタンダードウエストゲート EVC(1.0kg/cm²) 5次元80φマフラー パワーフロー F-CON レビックⅡ+380cc×2



ブースト計、排気温度計は視認性のいいメーター前にセットしている

1JZ-GT

トヨタの主力パワーユニット。ポテンシャルは高い トライアル ☎0729-65-6823

スーブラ、マークⅡ系でデビューし、今やソアラにも搭載されてトヨタの主力パワーユニットとなった1JZ-GT。当然、チューニングベースとしても注目されており、各チューナーによる開発はハイペースで進んでいる。

1JZ-GTのEXポートは小さく、ノーマルのセラミックタービンなら下から気持ちのいい走りが体感できる。ただ高速域ではつらく280psというワイルドなイメージはない。ノーマルタービンベースのファインチューニングなら360psといったところだ。

しかし、1JZ-GTはエアフロメーターのないDジェトロシステムだ。したがっ

てタービン交換する場合、シングルorツインどちらでもレイアウト上、大きなメリットとなってくる。シングルならTO4S、RHC7、ツインならT3G、TD05Gといったようにチューニングバリエーションは豊富だ。

このRHC7(724G)はオリジナルのステンレスEXマニによってドッキングされ、過給圧は1.2kg/cm²。マイルドなフィーリングながらも中速～高速にかけて、グッとおいしさが増し重量ボディをグイグイと引っ張ってくれる。

今後1JZ-GT用のパーツは続々と開発されてくるはず。チューニングワールドにおいても目の離せない存在だ。



オリジナルステンレスEXマニ RHC7(724G) プリッツタイプEウエストゲート EVC(1.2kg/cm²) オリジナル3層インタークーラー アルティマ80φマフラー パワーフロー レビックⅡ+380cc/min×2



グローブボックスは取り除かれ、ブースト計、排気温度計、EVC、レビックⅡをレイアウト